

令和5年度  
事業報告

## はじめに

令和5年度は、長らく社会規模で多大なる影響を与え続けた新型コロナウイルスが、感染症法上の分類において第2類から第5類に移行され、それと共に行政による支援は規模を縮小し、次年度には自助努力による対応力向上が求められることとなりました。往々にして施設内療養への対応が事業活動に影響を与え、業績も一進一退を繰り返す一年となりました。各事業の取り組みは3年に渡り活動自粛にありましたが、いよいよ対策を伴いつつも段階的に地域での活動や面会方法を緩和・拡大し、新しい生活様式へ展開しました。

一方、我が国の人口減少と高齢化は進む一方ですが、その中でも生産年齢人口の減少は介護人材確保にも深刻な課題を投げかけています。多くの施設では外国人労働者に依拠せざるを得ない状況にある中、それでも当法人は何とか幅広い年齢層に支えられ、それぞれが役割を持ちつついきいきと活躍できる職場作りにも取り組み続けました。その結果、ひょうご仕事と生活センターやハローワークから自己アピールの機会を多く得ることができました。更には、姫路市産業振興課発行の姫路経済情報誌『ファイル』や独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構発行の『70歳雇用推進事例集』に取り組みが掲載され、東京都のナースプラザ（看護協会）から講演依頼を受けるなど、広く職場の魅力を発信する機会を得て、地道に取り組んできた成果が如実に表れた1年でもありました。

そして、北欧・中東諸国の争いなどが物価高騰を更に深刻化させ、頼みとなった支援団体の補助金には残念ながら恩恵を受けることができず年度末を迎えるに至りました。

しかし、今年度においては、予算計画に忠実な事業運営を実行し、堅実な活動に取り組んだ結果、兆しにすぎないまでも事業活動の復調をアピールすることができました。

そのような課題多き情勢下において、中長期計画第2期3年目、最終年度の事業に取り組んだので、下記のとおり報告します。

## 目 次

社会福祉法人しらさぎ福祉会 第2期中長期計画事業報告	2
令和5年度 社会福祉法人しらさぎ福祉会 事業報告書	7
令和5年度 特別養護老人ホームしらさぎの里 事業報告書	13
令和5年度 しらさぎの里ショートステイ事業所 事業報告書	24
令和5年度 地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里 事業報告書	26
令和5年度 デイサービスセンターしらさぎ 事業報告書	29
令和5年度 しらさぎ在宅介護支援センター 事業報告書	33
その他 外部研修実績一覧 及び ボランティア活動実績	37

## 社会福祉法人しらさぎ福祉会 第2期中長期計画事業報告

(期間： 令和3年4月1日～令和6年3月31日)

### 《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

## 1 サービス品質

### 1) 経営理念・方針の周知

「アットホームな施設」でありつつ、基本理念である「誠心誠意」「心温かく丁寧」「地域貢献」等のイメージを施設カラーとして地域社会に浸透させます。(1年)

【評価】法人理念が職員におおよそ浸透したことを受け、ホームページやパンフレットに加え、日々の取り組みを通じて地域(住民、各種団体など)にも周知するため、地域交流の場や学校関係行事において積極的にPRし続けました。

### 2) 外部評価の実施

定期的な第三者評価の受審、情報公開を通じて、取り組みの魅力を発信します。(2年)

【評価】令和4年度の第三者評価受審を受け、公表した評価情報が、施設関係者や他職種他機関の目に留まり、独自の取り組みをアピールする機会を得ました。今後の課題としては、この情報を地域住民や利用者等の目に留まるよう工夫し、顧客獲得の一手段として取り組みたいと思います。

### 3) 業務手順の標準化

新しい生活様式を盛り込んだマニュアルの整備を行います。定期的にマニュアルの見直しと非常勤職員を含めた全職員に周知します。(1年)

【評価】介護保険事業新しい法整備や新しい生活様式が求められる中、全事業所において年1回のマニュアル見直しを進めました。

### 4) コンプライアンス

常識やマナーはもちろんのこと、全職員が法令遵守に対する高い意識を以て行動、発言できるようにします。(1年)

【評価】法令遵守やハラスメント対策等をテーマとした管理者研修と職員研修、新規採用時研修も直近事例を通じて充実化を図り、令和5年度は毎月の強化テーマを掲げた啓発活動に着手し職場環境改善や人材育成に取り組みました。

## 2 人材

### 1) 人材確保

年齢や障害の有無に関係なく、多様な人材による人材確保を実現し、人員配置基準の維持継続を果たします。また、人材を獲得するため、組織を挙げて職場の魅力を発信します。(2年)

【評価】メディアや認定制度を通じて高齢者や障害者を含む多様な人材が定着し、いきいきと活躍できる職場として情報を発信しました。「シニア活躍事業所」「ユースエール認定企業」に認定、令和4年10月高年齢・障害・求職者雇用支援機構より2回目の特別賞を受賞、11月「仕事と生活のバランス推進企業」として表彰され、現在その功績を強みに求人活動を展開しています。成果として、令和5年度は姫路市経済振興課機関紙「ファイル」や仕事と生活

センターの表彰企業事例集、高齢・障害・求職者雇用支援機構の「70歳雇用推進事例集」への掲載など、特色を周知する良い機会を得て、複数の休職者の目に留まり効果を実感しました。

## 2) 人材育成

各部署に於いて、後継者育成を視野に入れ、キャリアパス制度に基づいた体制づくりをするための個別教育計画を立て、計画的に実施します。(2年)

【評価】中長期的な人材活用を視野に後継者育成を進め、令和4年4月以降キャリアアップによる新体制へ転換し、在宅部門の強化を図り、法人全ての事業が連携協力し合い総力で成果を上げる仕組みが機能しています。

## 3) 経営マインドの育成

経営的視点で営業努力を行う意識を職員に浸透させ、共通の目標を掲げ、効率的手段により収益を生み出します。(2年)

【評価】常勤者のみならず非常勤職員にも経営的視点と目標の共有を図り、職員の経営マインドを醸成、利用者満足度と収益率向上の先に成果も共有できるビジョンに向けて舵をとりました。令和6年度は、独自の特徴などメリットを増やすための対応力強化とそれに伴う個々のスキルアップを共通課題とし、幅広く中重度者のニーズに対応できる施設を築き、収益性を高めます。

## 4) 役員構成

役員体制において、しらかぎ福祉会らしく地域と一体的な取り組みを目指した組織を築きあげ、地域社会に貢献し続けるための組織力を高めます。(1年)

【評価】令和4年12月に理事補充選任を行いました。更に年度末には理事1名が退任し、令和5年6月にも補充選任があり、役員体制の転換期を迎え、体制を整え直す必要があります。

## 5) 権利擁護

対人援助職として、権利擁護への意識を高め、常日頃からの行動姿勢を通じて施設評価を高めます。(1年)

【評価】介護報酬改定に伴い、令和3年4月に全事業の運営規程を見直し、高齢者虐待防止のための指針を掲げ、年間計画に基づく施設内研修と会議、委員会を実施し、虐待防止への意識向上など、取り組みを積極的に行いました。

# 3 財務基盤

## 1) 事業収入の拡大

介護報酬制度の改定により厳しい変革が求められる中、全事業で年間5億円以上の介護保険事業収入を生み出します。(2年)

【評価】令和5年度は姫路市の受託事業からの撤退により、収益率を高めるため地道な努力が続きました。上半期は全事業で復調の兆しが見えましたが、年度末には再び新型コロナに悩まされました。深刻な物価高の影響も重なり、収支とも切り詰めた形での取り組みに終始しましたが、介護保険事業における総収入は昨年度を上回る成果となりました。

## 2) 積立金の計上

無駄な支出や不適切な経費を徹底して見直し、年間で2千万円の積立金を確保します。(3年)

【評価】上半期は、財源を生むために収支双方において自助努力が求められました。目標には到達しなかったものの、復調をアピールでき、予算にあった取崩財源を必要とせず黒字決算で終えました。それを受けて、目標値である積立額について、次年度での実現が現実的なものとなりました。

### 3) 財務分析

月次決算による財務分析を行い、財務状況と予算、収支を意識した計画的な資金運用を行います。(1年)

【評価】月次決算に基づき、無駄を減らし、実現し得る緊急的に必要な部分に対し、計画的に財源を運用し、労働環境と施設内環境の改善に取り組みました。

## 4 制度及び行政の動向

### 1) 介護報酬の改定

制度の仕組み及び加算算定要件を徹底分析し、常に新しい加算の算定を目指した取り組みを行います。(2年)

【評価】特養では、科学的根拠に基づく取り組みを進めるため LIFE を活用し加算算定を開始。令和6年度の介護報酬改定では関連加算の算定に収益性向上が期待できます。収益性が深刻化していたデイサービスでは、定員充足率を新型コロナ前までもう一步へと近づけました。義務化予定の必須項目には既に対応しており減算は回避済み。算定可能な加算取得の見通しもつき、あとは手続きを逸さず、次年度は新加算体制で上位加算獲得と増益を実現します。

### 2) 行政からの受託事業

地域包括支援センターの運営など公益性の高い取り組みを通じて、地域における法人の存在価値を高め、築かれた信頼関係をきっかけとして顧客と介護人材の獲得につなげます。(2年)

【評価】地域包括支援センター運営事業から撤退し、上半期はその移行手続きが続きました。24時間見守りサービス(LSA)を切り札として取り組む方針に転換し、地域では外出支援ニーズの高さから新規利用者も増えました。令和6年度からは居宅介護支援事業所が介護予防支援事業所として指定されるため、地域に根差した独自の総合相談体制を再構築する機会と捉え、法人全体で多様な地域ニーズに素早く対応して信頼関係を強化します。

## 5 地域との関係

### 1) 地域連携

感染症拡大期により希薄化した地域関係者やボランティアとの協働姿勢を強化するため、信頼関係を堅実維持するとともに課題を共有し、問題解決機能を地域協働により築きあげます。(2年)

【評価】令和5年度からは地域へのアプローチを段階的に再開し、地域の中での存在価値を再び高めることに注力しました。ボランティアや実習生の受け入れ、アットホーム林田を利用したイベント開催や小・中学校との交流行事や福祉学習や福祉施設見学の実施なども積極的に実施でき、感染対策を伴いつつも地域に存在感を示すことができました。

### 2) 地域特性の把握

自治会や民生委員、老人会、それぞれの特性を活かした情報網を確立し、コロナ禍でも可能な形の連携体制を事業運営に活かします。(1年)

【評価】行事開催は難しくとも、自治会や民生委員など地域各種団体との連絡・相談・対話を大切に取り組み続けました。

### 3) 労働市場の開拓

地域福祉の持続化を目指し、地域ぐるみで介護人材の確保を目的とした共同体を築きます。そのため、幅広い世代への関心拡大を図り、地域での福祉教育・介護のイメージアップ活動を展開します。(2年)

【評価】地域関係者や小中学校とのつながりを強化し、積極的に施設の存在や特徴、機能を周知し、地域の社会資源として存在価値を高めました。また、地域福祉やその担い手確保の重要性を説き、地域ぐるみで地域を守り育てるための連携・協力を持ち続けることに対し理解を求めました。

## 6 マーケット

### 1) 地域ニーズへの対応

利用者ニーズの徹底分析と将来的な展望により顧客満足を追求し、常に一步先を目指した特色ある事業であり続けることにより、稼働率向上を果たします。(3年)

【評価】デイサービスは、幅広いニーズに対応し、短時間サービスや趣味活動の充実など、利用価値を高めてよりニーズに応じたサービス提供を行いました。

### 2) 競合状況

将来性のある地域貢献を目指し、在宅系拠点の一部進出・事業拡大も視野に入れ、社会情勢も踏まえながら事業展開を検討し続けます。(長期計画 7年)

【評価】様々な情報や業界の動向について情報収集に努め、将来的に多様な選択が可能となるように、まずは財政面の強化に取り組む期間としました。

## 7 設備・備品管理

### 1) 感染拡大防止策としての各フロアゲートの設置

感染症対策が重要視され続ける中、フロア間の交流や往来などによるリスク拡大を防ぐために、順次フロアごとにゲートを設けます。(3年)

【評価】新館入口フロアゲートの成果に習い、本館とユニットでも一時的な防護策として抗菌カーテンなどを導入し一定の成果を得ました。更に検討を続けます。

### 2) 新館下駐車場天板剥がれ落ち部分修理

駐車場の天板に水が浸水し劣化したことによる剥がれ落ちが発生し危険な状態にあるため、原因を調査したうえで修繕を行います。(2年)

【評価】引き続き設備点検と修繕計画の検討をするなど安全性向上に取り組めます。

### 3) 水道配管及び給湯設備の更新

令和2年冬に給湯設備の不具合が発生、入居者の生活や厨房業務に支障を来した。このことを受け、徹底した調査を行い、給湯器の修理に加えて老朽化した給湯配管の組換え工事なども視野に必要な改善工事を早期に行います。(3年)

【評価】令和3年10月に給湯器(エコキュート)の修理を完了。令和4年度には、給湯配管やその循環に影響を与える機能(ポンプ、モーターなど)の組み換えを実施。令和4年4月に温度計と圧力計を設置し、一部旧配管(銅管)の組み換え工事を完了。これにより特養の給湯設備は正常化を果たしました。令和5年度には、デイサービスの給湯設備に異常がみられ、給湯器や一部配管の更新、更にミキシングバルブの交換などを試み、湯温調整の再調整を行いました。

#### 4) 新館屋根塗装工事

本館に続き、屋根の老朽化を防ぐため、新館の塗装工事を行います。(3年)

【評価】本館に続き、老朽化が進む新館部分の塗装について屋根と外壁、階段部分などを点検調査中。見積りにより予算化へ向けて準備はできたものの、大規模改修に相当するため、次期中長期計画へ見送る方針としました。

#### 5) 案内看板の更新工事

国道からしらさぎの里までの案内看板2か所の色が薄れ、案内機能が損なわれているため、看板を更新し、イメージアップと案内機能の向上を図ります。(3年)

【評価】物価上昇を受け再見積り、看板設置場所の地主とも協議し移設を検討。地主から撤回の意思表示あり、令和6年度中のリニューアルも視野に検討します。

#### 6) 擁壁補修工事

平成29～30年の大規模改修で築いた擁壁ブロックの水抜き量が多く、擁壁の継ぎ目を埋める緩衝材が劣化、放置すれば擁壁の強度を失い崩壊する恐れもある。防災上の観点から、地震や自然災害に備えて早期修繕を図ります。(2年)

【評価】擁壁部分の調査と見積り後、設計士と設置業者から緊急性無しとの助言あり、現在他の課題が優先されるべきため、先送りとしました。

#### 7) 耐震補強工事

災害に備え、構造の弱い本館部分の耐震性を高め、施設の安全強化につなげます。(長期計画 5年)

【評価】令和5年までに5年以内の実現を目指して計画の具体化など準備を進めます。

### 8 防災・感染症対策

#### 1) 事業継続計画の整備及び周知

災害発生及び感染症の蔓延に備え、被災等から事業を再開する手立てとして事業継続計画(BCP)を整え、職員に周知し、訓練に活かします。(1年)

【評価】事業継続計画は既に整い職員に周知。兵庫県老人福祉事業協会のBCPモデルを基に精度を高めるための見直しを実施しました。能登半島地震をはじめ国内での自然災害が身近なものとなる中、令和6年度に義務化されたBCP対策では更に規定内容の精度を高めるため見直しを行います。

#### 2) 情報伝達のデジタル化

災害等の緊急連絡や重要な連絡の円滑な周知が図れる仕組みとして、ICTを活用した伝達手段を確立します。(2年)

【評価】ホームページの職員専用ページなどは活用定着に至らず。システム管理会社のサポートとホームページ管理担当者配置により情報発信力に成果あり。令和6年度は施設職員の緊急連絡手段や安否確認などの機能性を高めます。

#### 3) 災害や感染拡大への対応力強化

災害訓練及び感染症対策訓練として、シミュレーションを行い、職員の対応力向上につなげます。(2年)

【評価】災害対策と感染対策について、4月までに運営規程を更新しました。感染拡大により予定変更もありましたが、訓練と研修を実施し、定着化を図りました。

令和5年度

## 事業報告書

社会福祉法人 しらさぎ福祉会

### 《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

### 《基本理念》

誠心誠意を尽くし その人らしさを尊重し 貢献心を強く持つ

### 《基本方針》

- ① わたしたちは、懇切丁寧に接し、安全で安心、安楽な生活環境をつくります。
- ② わたしたちは、尊厳を守り、個別性のある心温かい支援を行います。
- ③ わたしたちは、地域社会とのつながりを大切にし、福祉向上のために貢献します。

## 1 法人経営の原則の遵守

法人は、定款第3条の規程に則り、社会福祉事業の主たる担い手として相応しい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、経営基盤を強化し、サービスの質向上及び事業経営の透明性の確保を図り、地域福祉の推進に努めることを宣しています。

令和5年度は、その実践として以下のとおり取り組みを行いました。

一つ目に、経営基盤の強化に向けて、新型コロナが第5類に位置付けられる中でクラスターのリスクにも対応力を高め、引き続き年間総事業収入5億円の実績を目標に置き取り組みました。今年度も上半期は上昇傾向にありましたが、年度末に安定維持を図ることができず目標達成には至りませんでした。8月と10月にクラスターが発生し補助金活用をするに至りましたが、デイサービスの事業継続や利用制限緩和などにより最小限のダメージに留めました。しかし積極的に顧客拡大を図るも、年末以降の体調不良者の入院増加、年度末の新型コロナによる施設内療養などを経て苦境は続き減収となりました。それでも、法人全体で増益となり事業ごとではショートステイを除き黒字決算となりました。

二つ目に、業務効率化です。介護ロボット補助金による見守り機器の追加購入を実現し、更に安全対策と業務負担軽減を図りました。次年度の追加購入も視野に引き続き情報収集と環境整備を進める考えです。

三つ目に、職員の資質向上と職場環境の改善です。人材確保のためには職場環境改善が欠かせません。職場環境改善に向けたアンケート調査の結果を踏まえ、人材確保と定着を促進するために欠かせない視点をテーマに管理者（指導者）教育と職員の意識改革に力を入れました。

四つ目に、処遇面の更なる改善です。人的要因と社会的要因により専門職の役割が重要性を増す中で、看護師の処遇、そして退職手当支給規程の非常勤職員に関する支給要件について、整合性を図るための見直しを行い、職員処遇に関する制度の適正化を図ることができました。

以上の取り組みにより、職員のための働きやすい環境づくりと法人が求めるガバナンス強化、双方の実現を果たした1年でした。

## 2 理事会・評議員会の開催

### 1) 理事会の開催

・第1回 令和5年6月1日（木）

第1号議案 令和4年度事業報告（案）について

第2号議案 令和4年度計画書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について

(監事監査報告)

- 第3号議案 理事・監事候補者の選定について
- 第4号議案 給与規程一部改正(案)について
- 第5号議案 令和5年度定時評議員会への上程議案の確認について
- 報告事項① 職員の入退職について
- 報告事項② 理事長の職務執行状況について
- 報告事項③ その他
- ・第2回 令和5年6月17日(土)
  - 第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選(案)について
  - 第2号議案 評議員選任・解任委員の補充選任(案)について
  - 報告事項① その他
- ・第3回 令和5年9月11日(月)
  - 第1号議案 退職手当支給規程の一部改正(案)について
  - 第2号議案 臨時昇給(案)について
  - 報告事項① 現況報告について
  - 報告事項② 職員の入退職について
  - 報告事項③ 理事長の職務執行状況について
- ・第4回 令和5年12月14日(木)
  - 第1号議案 令和5年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算(案)について
  - 第2号議案 経理規程の一部改正(案)について
  - 第3号議案 退職手当支給規程の一部改正(案)について
  - 第4号議案 令和5年度第2回評議員会への上程議案の確認について
  - 報告事項① 令和5年度上半期決算報告について
  - 報告事項② 令和5年度上半期監事監査報告について
  - 報告事項③ 各事業所の現況報告について
  - 報告事項④ 職員の入退職について
  - 報告事項⑤ 理事長の職務執行状況について
  - 報告事項⑥ その他
- ・第5回 令和6年3月5日(火)
  - 第1号議案 令和5年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算(案)について
  - 第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について
  - 第3号議案 令和6年度定期昇給(案)について
  - 第4号議案 各サービスの運営規程の一部改正(案)について
  - 第5号議案 役員賠償責任保険の契約更新について
  - 第6号議案 令和5年度第3回評議員会への上程議案の確認について
  - 報告事項① 各事業所の現況報告について
  - 報告事項② 職員の入退職について
  - 報告事項③ 理事長の職務執行状況について
  - 報告事項④ その他

2) 評議員会の開催

- ・定時評議員会 令和5年6月17日(土)
  - 第1号議案 令和4年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について  
(監事監査報告)
  - 第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の改選について
  - 第3号議案 給与規程

- 報告事項① 令和4年度事業報告について
- 報告事項② 職員の入退職について
- 報告事項③ その他
- ・第2回 令和5年12月22日(金)
  - 第1号議案 令和5年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算(案)について
  - 第2号議案 経理規程の一部改正(案)について
  - 第3号議案 退職手当支給規程の一部改正(案)について
  - 報告事項① 令和5年度上半期決算報告について
  - 報告事項② 令和5年度上半期監事監査報告について
  - 報告事項③ 各事業所の現況報告について
  - 報告事項④ 職員の入退職について
  - 報告事項⑤ その他
- ・第3回 令和6年3月15日(金)
  - 第1号議案 令和5年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算(案)について
  - 第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について
  - 第3号議案 令和6年度定期昇給(案)について
  - 第4号議案 各サービスの運営規程の一部改正(案)について
  - 報告事項① 各事業所の現況報告について
  - 報告事項② 職員の入退職について
  - 報告事項③ その他

### 3) 監事会の開催

- ・令和5年5月9日・5月12日(世良監事・石飛監事)  
令和5年度第1回理事会及び定時評議員会にて令和4年度下半期監事監査結果として報告
- ・令和5年11月8日・11月9日・11月24日(世良監事・石飛監事)  
令和5年度第4回理事会及び第2回評議員会にて令和5年度上半期監事監査結果として報告

### 4) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・令和5年度の開催はありませんでした

## 3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営  
老人デイサービス事業の経営
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業

## 4 本年度の重点施策

### 1) サービス品質

- ① 法人理念が職員に浸透し、ホームページやパンフレットに加え、地域交流の場屋学校関係行事において、積極的に地域(住民、各種団体など)にPRを続けました。
- ② 令和4年度の外部評価受審結果を公表することによって、施設関係者や他職種他機関の目に留まり、独自の取り組みを地域社会にアピールすることができました。
- ③ 介護保険事業等新しい法整備や新しい生活様式が求められる中、全事業において年1回のマニュアルの見直しを進めました。
- ④ 法令遵守やハラスメント対策等をテーマに、管理者研修や職員研修、新規採用時研

修の充実化を図るとともに、毎月の強化テーマを設けて職場環境整備と人材育成に取り組みました。

## 2) 人材確保と人事管理の適正化への対応

- ① 行政等が発行する広報誌や認定制度を通じて、特色を周知するための多様な機会を得て、広く情報発信することができました。
- ② 中長期的なキャリアアップを視野に計画的に後継者育成を進め、特に在宅部門強化に力を入れました。
- ③ 常勤者のみならず非常勤職員にも経営的視点と目標共有を図り、職員の経営マインドを醸成し、利用者満足度と収益率向上を意識した会議運営に取り組みました。
- ④ 学生的目線で法人の在り方を客観視できる役員体制が形成され、より堅実的な経営の実現に向けて組織力強化を果たしました。
- ⑤ 介護報酬改定に伴い、高齢者虐待防止のための体制、ルールを再整備しました。

## 3) 財務基盤の強化

- ① 受託事業からの撤退や新型コロナによる利用規模縮減などの影響が避けられず、物価高騰も重なり多大な課題を抱えたが、包括センター受託費を加味すれば昨年度ほぼ同等。法人全体で減収とはいえ増益となったため、経営改善はあったと分析する。
- ② 積立金を計上するまでには至らなかったが黒字決算にまで回復を実現できました。
- ③ 月次決算に基づき、無駄なく計画的な財源運用を心がけ、労働環境と職員処遇改善という最優先課題を堅実に改善に導くことができました。

## 4) 制度や社会変動への対応

- ① 令和6年度介護報酬改定に伴う財源確保策として、LIFE運用による科学的根拠に基づく取り組みをはじめ、関連加算や未達成加算の算定実現に向けて情報整理と分析を行い、法人としての経営改善方針を定めることができた。
- ② 受託事業からの撤退を受けて地域連携の機会は激減したが、地域サポート施設の活動や出前講座などを通じて独自の総合相談体制を稼働させ、次年度以降には地域密着型の総合相談機能を更に強化する土台は築かれています。

## 5) 地域との関係

- ① 従来からのネットワークを活かしながらの活動に加えて地域の中で出前講座等のイベントを積極的に行い、地域連携体制の再構築に向けた進展へ導きました。
- ② トライやるウィークの前段階で行う林田中学校1年生が行う福祉学習出前授業と施設訪問による町探検受入れ、林田小学校4年生が行う職業調べのための施設学習を出張形式で実施し、介護施設と介護職の魅力を発信しました。  
そして、トライやるウィークでは、林田中学校2年生1名を受け入れ3日間実施。職場の魅力を若者に伝えることの成果を得ることができました。

## 6) 顧客獲得への取り組み

- ① 次年度介護報酬改定において、姫路市の指定により利用者と指定介護予防事業の直接契約が可能となることを受け、地域における問題解決機能を更に発揮できる体制が求められると想定し、法人全体で地域を支える仕組み作りに着手しました。
- ② 新しい社会貢献への取り組みを模索し、施設整備説明会からの情報収集などを粛々と進めています。現時点では当法人が着手できる新たなニーズは見つからず。

## 7) 設備備品管理

- ① 新館のフロアゲートの成果に習い、カーテンや抗菌シートなどによる防護策を実施。エリア間での感染拡大防止に一定の効果を確認できたが、更に効果的なフロアゲート活用術の検討を進めています。
- ② 新館下駐車場の天板破損部分については、大規模改修が想定され、関連部分と併せて修繕時期を検討中であり、予算と合わせて計画に挙げる考えです。
- ③ 給湯設備は、特養において、早期解決のため上半期に実施し、配管の組み換えやポンプ、バルブ、ボール弁などの交換を行い、調査の上で可能な限りの更新工事を実施。以降トラブルは見られず、改善に至ったと思われます。  
デイサービスにおいて、ミキシングバルブの不調が報告され点検や修理を行ったが抜本的解決に至ったかは疑問視されており、引き続き注視、検討していく。
- ④ 新館屋根塗装工事については、大規模改修が想定され、関連部分と合わせて修繕時期を検討中であり、予算と合わせて計画に挙げる考えです。
- ⑤ 案内看板の更新については、年度内に地主との間で相談を終えており、撤去までは扶養と確認している。移設又は修繕、立て替えなど、改めて地主との協議を持ちながら手段を検討、令和6年度実現を目指します。
- ⑥ 擁壁補修は、建築士の調査によれば擁壁ブロックの傷みとは言えず、早期修繕を必要とせず。当面は定期点検を行い慎重に経過観察を行っていきます。

## 8) 災害時に備えた体制の整備

- ① 避難確保計画と事業継続計画（BCP）に従い、研修とシミュレーションを手段とした訓練を定期的実施することを行事計画として位置づけ、定着に至ったため、次年度以降、義務化されることを受け、計画的実施とルール・手順の見直しを行います。
- ② 情報伝達のデジタル化について、ホームページや携帯電話を利用したツールの検討を引き続き行っています。
- ③ 対応力向上が求められる災害に備えた外部機関や地元企業との連携については、行政や地元住民との情報交換、近隣施設との連携体制を模索し行動を進めています。能登半島地震の発生を受けて、福祉避難所としての機能強化も視野に体制づくりの検討を進めます。

## 9) その他

- ① 情報の公表  
令和6年2月に公表  
(特養、地域密着型特養、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援)
- ② 財務諸表等情報開示システムによる公表  
令和5年6月アップロードを終え、姫路市にも報告済み。
- ③ 特定建築物等防火設備定期点検実施（3年1回）  
令和5年10月実施、姫路市にも報告済み。  
【令和5年度不具合指摘箇所改善状況】
  - ・本館ベランダ手摺支柱部欠損・・・令和6年4月修繕完了。
  - ・新館外壁にひび割れ・・・別途工事に関連して実施予定。
  - ・本館居室の窓ガラス破損・・・改善措置要するため、調整中。
  - ・新館軒天ボード2か所破損・・・調査及び修理を見込み、見積依頼済。実施見送り。
  - ・屋外階段鉄部塗膜劣化・・・関連部分と合わせて修繕予定。
  - ・西トイレ外装塗装の劣化・・・室外機の位置変更又は外装への直撃風回避を検討。
  - ・雨水の漏水跡・・・軒天修理等別途工事に関連して実施予定。

- ④ 防火設備定期検査（令和5年10月18日）三和シャッター工業  
防火シャッター及び防火扉について異常及び指摘なし。
- ⑤ 消防用設備等保守点検実施（令和5年5月23日、同年10月18日）安立防災  
消火器及び消火栓、火災警報器などについて異常及び指摘なし。  
令和6年2月2日 火災警報装置の誤作動発生 ➡ 装置交換完了 安立防災
- ⑥ エレベーター定期検査（本館・新館 2か所）フジテック  
（令和5年4/27、9/13）
- ⑦ 自家用電気工作物点検（自家発電設備）日本テクノ  
年次：令和5年11月7日 ※異常なし。  
月次：令和5年5/10、7/11、9/7、11/7、令和6年1/15、3/8 ※異常なし。
- ⑧ 産業廃棄物立ち入り検査（5年1回）姫路市 令和5年度は対象外
- ⑨ 簡易専用水道定期検査（令和6年2月15日）姫路市医師会  
指摘事項特に無し。助言事項特に無し。総合判定「良好」。
- ⑩ 水質検査（令和6年2月15日）姫路市医師会  
採取場所・・・特養一般浴槽（本館・新館・ユニット）、デイサービス一般浴槽  
検査結果・・・公衆浴場（浴槽水）における水質基準に適合。
- ⑪ 飲料水検査（令和5年4月14日）アクアプラス  
受水槽清掃及び点検済・・・受水槽内に錆・異物・沈殿物なし。亀裂・破損なし。  
採取場所・・・1階男子トイレSK  
検査結果・・・水質は（良）残留塩素含有量・色・濁度・臭気・味に異常なし。
- ⑫ 利用者・職員健康診断  
令和5年7月26日（利用者健康診断）  
令和5年7月19日（健康診断及び腰痛検査・ストレスチェック）  
令和6年1月30日（夜勤者・宿直者の健康診断及び腰痛検査）

令和5年度

## 事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

年間稼働率は、95.5%で前年度と比較し0.6%の増加となりました。令和5年度は平均年齢が約90歳と高齢で約3割が95歳以上であり、看取りケアが23名、医療機関入院中に14名が亡くなられ計37名の退所がありました。入所に関しては新型コロナウイルスによる感染対策に要したため、スムーズな入所が実現できず稼働率の低下を招いたと考えます。

### 1 根拠に基づいた介護の実践

#### 1) 根拠に基づいた介護の実践について

主任会議やフロア会議、施設内研修会において、適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事を摂取できた場合に、身体にどのような影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。

#### 特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
4月24日・28日	排泄介助（トイレ誘導・パッド交換）（実践）	介護職員
5月17日・19日	チームケアの重要性（他職種連携）	介護職員
5月26日・31日	高齢者虐待	介護職員
6月10日・12日	ターミナルケア	介護職員
7月14日・28日	食中毒の基礎知識と予防（感染症）	管理栄養士
7月10日・11日	高齢者施設における事故発生の原因と予防（ヒヤリハット）	介護職員
7月16日・20日	食事介助・服薬（実践）	介護職員
8月4日・9日	口腔ケアの重要性	看護職員
8月17日・25日	高齢者に多い疾病（褥瘡も含む）	介護職員
10月24日・30日	吸引・胃瘦介助（介護・看護・医師の連携、実技）	看護職員
6月8日・16日	プライバシー保護、個人情報保護	介護職員
11月14日・17日	緊急時の対応（骨折・止血）	介護職員
10月27日・31日	入浴介助（特浴・椅子浴・個浴）（実践）	介護職員
11月13日・14日	感染症予防・対策	介護職員
11月20日・22日	清拭介助（実践）	介護職員

1月15日・22日	褥瘡のメカニズム	看護職員
1月24日・26日	リハビリ（集団・個別でできる体操）	機能訓練指導員
1月13日、14日	介護事故の予防・緊急時対応	介護職員
2月3日・5日	認知症ケア	介護職員
2月25日・28日	身体拘束適正化	介護職員
3月12・13日	高齢者の尊厳を守るケア（身体拘束含む）	介護職員

#### 実習受入について

令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、令和5年度は龍野北高校介護実習の受け入れを行い、トライやるウィークの受入は中止し学校に赴き生徒に対し特養の役割の講義を行いました。

## 2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

### 1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロア会議、施設内研修において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

## 3 サービスの質の向上について

- 1) 根拠に基づいた介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し対応しました。嘱託医と連携をとり心身状況の把握に努め、変化があった事に対しご家族へお伝えし、ご家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、ご家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、新型コロナウイルス感染症の流行の治まりが見られてなかった為令和5年度はすべてお断りさせていただきました。

サービス担当者会議開催件数（広域型）

項目 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス担当者会議の件数	133件	156件	148件
ご家族参加の総件数	0件	0件	0件

※新型コロナウイルス感染症予防のため、面会制限（指定した部屋でのオンラインのみ）とし、意向を伺い作成しています。

- 2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）をご家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時にはご家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。（状態の変化の無い方は隔週でご家族へ電話にて近況を報告しています。）

#### ①介護の取組み

##### i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位や姿勢を確認し、入居者ご本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分の種類や摂取の方法を検討し、24時間摂取できる環境を作り脱水から起こる認知レベルの低

下を予防し、改善に繋がる方もありました。

ii 排泄：

入居者 一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者	自立
令和 5 年 4 月	9 名	43 名	8 名
令和 6 年 3 月	7 名	45 名	8 名

iii 入浴：

入居者の身体状況に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。

月日\種別	臥床特殊浴	座位特殊浴	個浴
令和 5 年 4 月	7 名	47 名	6 名
令和 6 年 3 月	10 名	48 名	2 名

②看護室の取組み

- i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。  
医師の往診時には、入居者の状態を報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 20～30 名程度の診察

心療内科医師：対象者 23 名（前年度 22 名）

歯科往診：対象者 60 名（津田歯科：45 名、おかだ歯科：15 名）

嘱託医への受診件数：66 件（前年度 60 件）

嘱託医以外の協力医療機関等への受診状況		
令和 3 年度受診件数	令和 4 年度受診件数	令和 5 年度受診件数
128 件	83 件	191 件

協力医療機関等への入院状況		
令和 3 年度入院者数	令和 4 年度入院者数	令和 5 年度入院者数
27 名	28 名	35 名

- ii 入居者・職員ともに年 1 回（夜勤者は年 2 回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。

- iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、ご家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

ターミナルケア実施者

項目 \ 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ターミナルケア実施者数	15 名	15 名	13 名
永眠者数	8 名	14 名	7 名

入居者退所内訳

医療機関移行	医療機関死亡	看取りケア	施設で死亡	密着型移行
3名	10名	7名	3名	0名

③栄養室の取組み

i 給食実施状況

・食事形態について

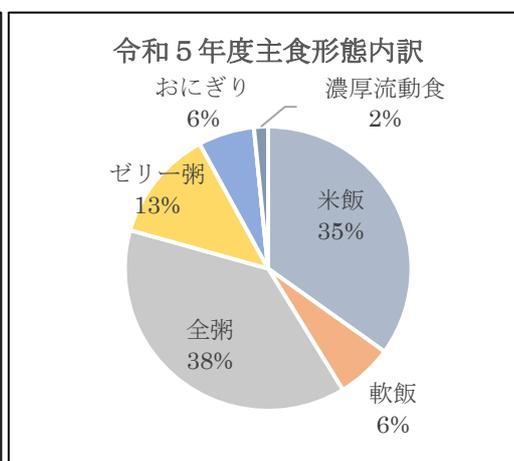
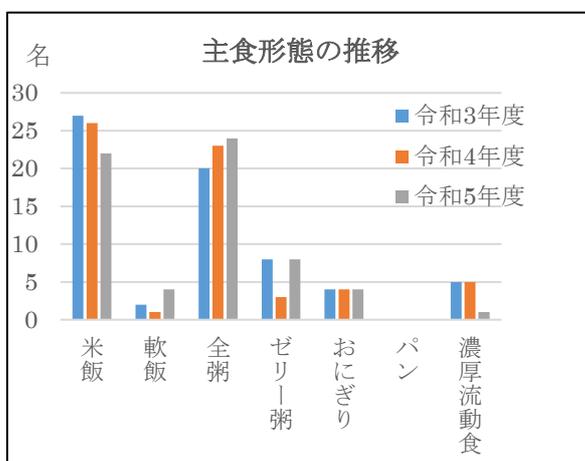
令和3年度から令和5年度までの3年間の比較をグラフにしました。

<主食> 令和6年3月31日現在

	米飯	軟飯	全粥	ゼリー粥	おにぎり	パン	濃厚流動食
令和3年度	27	2	20	8	4	0	5
令和4年度	26	1	23	3	4	0	5
令和5年度	22	4	24	8	4	0	1

(名)

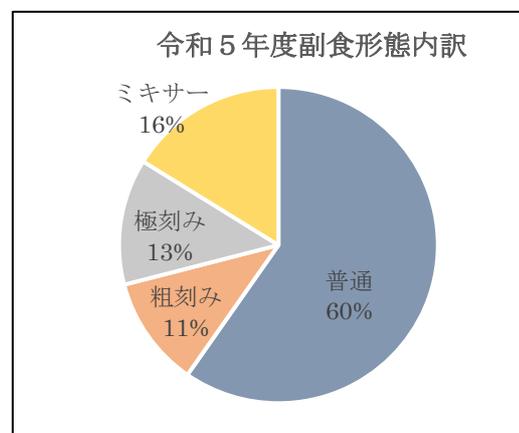
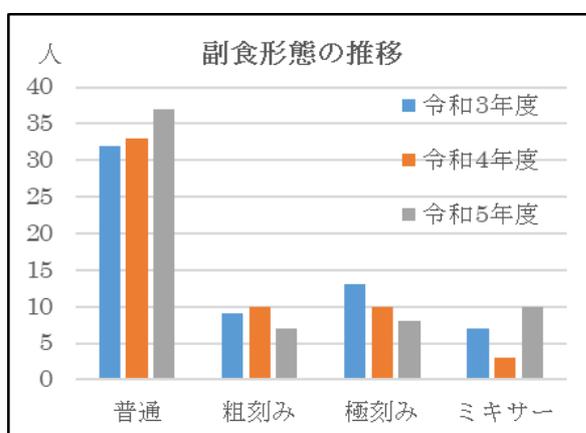
※濃厚流動食内訳：経口摂取1名



<副食> 令和6年3月31日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー
令和3年度	32	9	13	7
令和4年度	33	10	10	3
令和5年度	37	7	8	10

(名)



※令和6年3月31日現在入院者数5名を除く。

ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	800	1.00	1.20	100	7.5
R5年度平均	1526	68.0	41.0	234.0	719	8.4	824	0.94	1.23	97	7.7
給与率	102%	113%	114%	100%	114%	120%	103%	94%	103%	97%	103%

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では、本年度より新たに管理栄養士を配置し、栄養ケアマネジメント体制の強化に取り組んでいます。継続的な食事観察（ミールラウンド）の実施により、入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 療養食について

特養入居者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらさぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<令和6年3月31日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	貧血食
特養	9	4	0
ショートステイ	0	2	0

(名)

特養施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容	フロア行事内容
4月	・花見	・お誕生会
5月	・母の日お寿司パーティー	・お誕生会・母の日お菓子作り
6月	・父の日お寿司パーティー	・お誕生会
7月	・七夕ケーキ・パフェ・献花式	・お誕生会
8月	・ケーキ作り	・パフェ作り

9月	・敬老会	・お誕生会
10月	・運動会	・お誕生会
11月	・焼き芋パーティー	・お誕生会
12月	・クリスマス会	・お誕生会
1月	・初詣・書初め	・絵馬書き・お誕生会
2月	・節分・恵方巻き	・お誕生会
3月	・ひな祭り	・お花見

## 給食部門

### 1) お楽しみメニュー・行事食について

コロナウイルス感染症予防対策のため、バイキングの実施を見送っている中、お楽しみメニューが定着しております。季節の食材をたくさん使用した料理や盛り付け、普段とは違った特別感のある食事提供に心掛けました。それらに加えて少人数グループで入居者参加型の行事食を企画・実施し、できたての料理を五感で楽しんで頂けました。

<お楽しみメニュー・行事食の一例>



6月 父の日  
にぎり寿司

7月 フルーツカッティング

お楽しみメニュー

～お楽しみメニュー献立～

実施日	献立内容
4月14日(金)	巻き寿司、いなり寿司、旬魚の造り、蛤とあさりの男蒸し 牛肉とキャベツのホイル焼き、山菜の天ぷら、新じゃがとアスパラのチヂミ、カニのみそ汁、桜ムース
5月16日(火)	海鮮ちらし寿司、桜鯛のカルパッチョ、アスパラつくねの照り焼き、ささみチーズのタルタル春巻き、筍の木の芽和え あさりの赤だし、手作り苺アイス
6月19日(月)	たこ飯、明太子スープパスタ、旬魚の造り、焼き餃子 ポテトサラダの天ぷら、海老と蒸し鶏の生春巻き キムチ春雨スープ、クレームブリュレ

7月13日(木)	鰻の巻き寿司、エビフライ巻き、旬魚の造り、枝豆腐 じゃがいもとズッキーニのピザ、夏野菜と鶏肉のレモン南蛮 イワシの香草焼き、ハモにゅうめん、季節のフルーツ盛り合わせ
8月18日(金)	鮎めし、牛ステーキ・ホタテの陶板焼き、旬魚の造り ハモの天ぷら、万願寺唐辛子の甘辛炒め、韓国風ネギサラダ 夏野菜の豚汁、手作りチョコアイス
9月13日(木)	松茸ごはん、長田風ぼっかけ焼きそば、旬魚の造り さんまの梅しそ巻き、茄子のはさみ揚げ、ごま豆腐 秋野菜のクラムチャウダー、秋のフルーツ盛り合わせ
10月17日(火)	秋の炊き込みご飯、明太子スープパスタ、旬魚の造り 豆腐一丁ベーコンキムチ焼き、豚肉レタス蒸し 海鮮のホイル包み焼き、旬魚のあら汁、マロンパンナコッタ
11月6日(月)	にぎり寿司、けんちんそば、旬食材の陶板焼き 豚しゃぶキムチの生春巻き、明太ポテトコロッケ 春菊のチーズオムレツ、柿プリン

～参加型行事食（栄養室企画・実施）～



ケーキバイキング



かしわもち作り



鍋パーティー

実施日	内容
4月25日(火)	こどもの日 かしわもち作り(新館)
6月2日(金)	父の日 お祝いにぎり寿司(新館)
6月5日(月)	父の日 お祝いにぎり寿司(ユニット)
6月23日(金)	父の日 お祝いにぎり寿司(本館)
6月27日(火)	父の日 お祝いにぎり寿司(本館)
7月6日(木)	フルーツカッティング(新館・ユニット)
7月7日(金)	フルーツカッティング(本館)
8月8日(火)	ケーキバイキング(本館)
9月21日(木)	お彼岸 おはぎ作り(ユニット)
9月27日(水)	お彼岸 おはぎ作り(新館)
10月24日(火)	秋のスイーツバイキング(新館)
11月13日(月)	寄せ鍋(ユニット)
11月17日(金)	寄せ鍋(本館)
11月20日(月)	寄せ鍋(本館)
11月21日(火)	寄せ鍋(本館)
11月22日(水)	寄せ鍋(新館)

2) 行事報告 (その他行事食及び給食関係)

<特養>

日 程	行 事 内 容
4月 3日 (月)	花見 (弁当手配・配膳)
4月 5日 (水)	花見 (弁当手配・配膳)
4月20日 (木)	新館・ユニット 誕生日会 (ケーキ作製)
5月15日 (木)	本館 誕生日会・どら焼き作り (食材準備・調理指導)
5月31日 (木)	本館 誕生日会 (ケーキ作製)
6月16日 (金)	ユニット 誕生日会 (ケーキ作製)
6月20日 (火)	ユニット おやつ作り (食材準備・調理指導)
6月22日 (木)	新館誕生日会 (ケーキ作製)
7月15日 (土)	本館 父の日パフェ作り (食材準備・調理指導)
7月20日 (水)	本館 誕生日会 (ケーキ作製)
7月27日 (木)	本館 七夕かき氷 (食材準備・調理指導)
8月16日 (水)	ユニット かき氷 (食材準備・調理指導)
9月12日 (木)	新館 おやつ作り「ポップコーン」 (食材準備・調理指導)
9月20日 (水)	ユニット 誕生日会ケーキ作り (食材準備・調理指導) 本館 誕生日会 (ケーキ作製)
9月23日 (土)	本館 たい焼き作り (食材準備・調理指導)
10月30日 (月)	本館 誕生日会「寄席鍋」 (食材準備・調理指導)
11月30日 (木)	全ホール 焼き芋 (食材準備)
12月12日 (火)	本館 ラーメン作り (食材準備・調理指導)

<デイサービス>



誕生日会 手作りケーキ



スイーツバイキング



敬老の日 お祝いスイーツ

実施日	内 容
4月24日 (月)	誕生日会 ケーキ作製
5月12日 (金)	母の日 スペシャルスイーツ
5月25日 (木)	誕生日会 ケーキ作製
5月26日 (金)	誕生日会 ケーキ作製
6月10日 (水)	誕生日会 ケーキ作製
6月15日 (木)	誕生日会 ケーキ作製
7月 4日 (火)	スイーツバイキング
7月17日 (月)	誕生日会 ケーキ作製

7月27日(木)	誕生日会 ケーキ作製
8月1日(火)	誕生日会 ケーキ作製
8月23日(水)	誕生日会 ケーキ作製
8月26日(土)	誕生日会 ケーキ作製
9月6日(水)	敬老のお祝い スペシャルスイーツ
9月9日(土)	誕生日会 ケーキ作製
9月22日(金)	誕生日会 ケーキ作製
10月11日(水)	誕生日会 ケーキ作製
10月16日(月)	誕生日会 ケーキ作製

### 3) 栄養室職員による嗜好調査について

特養入居者・ショート利用を対象とした個別嗜好調査を、月1回の頻度で実施しています。調査は主に聞き取りで、ご本人やご家族から得られた情報や結果は、食事サービスや栄養ケア等に役立てています。入居者・利用者の生活歴や意見に触れることができ、職員意識の向上に反映させることができました。

またデイサービス利用者には一斉嗜好調査を実施しています(年一回)。一斉に実施することで喫食者の意見の数値化が可能になり、より良い給食運営につなげることができました。

### 4) ソフト食の定着化

咀嚼・嚥下困難の入居者が安心・安全に食事をして頂くため、主菜の一部にソフト食を導入しています。少しずつソフト食に調理する食材の種類が増え、同時に栄養室職員の食事におけるリスクマネジメント意識を高めることにもつながりました。今後もソフト食の完成度と定着化を目指し、よりいっそう入居者の食の安全とおいしさを追求していきたいと思っています。

## 5 地域との連携の強化について

しらすぎふれあいサロン、施設見学については新型コロナウイルス感染症対策として中止させていただき、介護技術講習会は年3回実施しました。

地域サポート施設として、令和5年度は8名の契約者の見守り事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として生活援助については中止させていただき、定期の安否確認及び緊急時の対応を行いました。

### LSA 契約者状況

令和3年度	令和4年度	令和5年度
8名	8名	8名

## 6 施設運営の安定と経費の適切な管理

### 1) 健康サポート(状態把握・対応)について

入居者の僅かな表情や変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応(受診・食事形態変更・観察)を行いました。入院されている方の把握を細かく行い、入院期間を把握しましたが、新型コロナウイルス感染が1年通して発生しスムーズな有効活用が行えませんでした。(空床率11.1%:82床で計算)

入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

### 2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

## 7 危機管理について

### 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

- ① 主任会議において事故検討委員会を行い、各フロアー会議においては危険予測・ヒヤリハットを活用しご利用者一人一人に応じた介護ロボットの設置を行いました。小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施しましたが、軽微な傷や皮下出血の事故が多くなりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和 3 年度	転倒転落	39 件	創傷	36 件	皮下出血	26 件	
令和 4 年度	転倒転落	68 件	創傷	24 件	皮下出血	19 件	
令和 5 年度	転倒転落	73 件	創傷	26 件	皮下出血	16 件	
令和 3 年度総件数		112 件	令和 4 年度総件数		114 件	令和 5 年度総件数	139 件

ヒヤリハット件数対比表

令和 3 年度	転倒転落	294 件	喉つめ	50 件	感染	48 件	
令和 4 年度	転倒転落	165 件	喉つめ	35 件	トラブル	34 件	
令和 5 年度	転倒転落	209 件	喉つめ	27 件	紛失	33 件	
令和 3 年度 総件数		614 件	令和 4 年度 総件数		454 件	令和 5 年度総件数	382 件

- ② 新型コロナウイルス感染症及び季節性感染症について、毎月の感染症対策委員会にて感染症の動向を確認し、事前の予防・対策を図り、感染症の拡大クラスターは発生しませんでした。

年度 \ 診断名	新型コロナウイルス	インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	疥癬
令和 3 年度	0 名	0 名	0 名	0 名
令和 4 年度	36 名	0 名	0 名	0 名
令和 5 年度	6 名	2 名	0 名	0 名

※職員の新型コロナウイルス感染 7 名、インフルエンザ B 型 1 名でした。

※新型コロナウイルス感染症対応のため、直接面会・外出泊の中止、必要物品の適正な使用、不要不急の外出自粛を職員に徹底して行いました。

### 1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋がりました。また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
0 件	0 件	0 件

2) 危機管理について

下記 日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しもを行い 5 日分を常備しています。

**特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況**

実施日	訓練内容	対象者
令和 5 年 5 月 23 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（夜間想定）	特養職員、地域住民
令和 5 年 10 月 18 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（日中想定）	特養職員、地域住民

**特養・地域密着型特養共同のBCP（業務継続計画）訓練計画の実施**

災害訓練	大型地震、土砂崩れ、水害を想定した避難訓練を実施	9月1日	11月6日
感染対策訓練	新型コロナウイルス感染シミュレーション（対策訓練）を実施	7月31日	1月15日

事業報告書

しらさぎの里ショートステイ事業所

令和5年度の年間稼働率は、98.3%で前年度に比べ-2.1%となっています。長期利用者の体調不良や入院、特養退所者が多く、ショートステイから特養入所になられ稼働が下がりました。また、1年間通して発生した新型コロナウイルス感染症による対応の為積極的な新規の受け入れを行えなかった事もあり空床利用が行えず稼働率の向上に繋がらなかったと考えます。

1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネージャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時にご家族にお伝えし状態の共有に努めました。

2 在宅生活継続に向けてのケアの構築（新型コロナウイルス感染対策を行い実施）

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車いすと歩行器の併用を行い自宅に帰られてからの状況も踏まえ自立支援に取り組みました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努めています。（令和4年度は2件）

苦情件数対比表

令和3年度	令和4年度	令和5年度
0件	0件	0件

- 3) 利用中の細かな状態の変化であっても ご家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、ご家族に早目の連絡と状況の説明を行い 受診を依頼しております。

介護事故件数表

令和5年度	転倒転落	42件	創傷	11件	皮下出血	5件
令和5年度総件数 165件						

ヒヤリハット件数表

令和5年度	転倒転落	174件	喉詰め	62件	紛失	45件
令和5年度総件数 505件						

- 4) 生きがづくり、楽しみづくりについて（新型コロナウイルス感染対策を行い実施）

- ① 個室を利用していただき、ご利用者のニーズに応じてテレビの設置等過ごしやすい環境を提供して頂けるようにしております。
- ② ショートステイの利用が多くなられている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、感染対策を行った上でのご面会やご家族からお手紙を書いていただき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。
- ③ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行って楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、年間行事等にご利用時に合わせて希望を伺い実施に繋げました。

5) 食事について

利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・ご家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

#### 4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

- 1) 新型コロナウイルス感染対策により 1 年を通しての積極的な受け入れは実施できませんでした。その中でコロナ禍において体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得して利用頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、ご家族にも感染症対策の内容を説明し、自宅での生活状況や利用前の検温に協力いただき、納得して頂きご利用に繋げました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。
- 2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネージャーに電話にて連絡し、月に 1 度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネージャーとの信頼関係の構築に努めました。

令和5年度

## 事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

令和5年度の年間稼働率は、94.8%と前年度に比べ1.3%の増加となりました。1年通しての新型コロナウイルス感染対策と複数名の体調不良による長期入院者がありました。その他は入居者個々に応じた水分ケアや健康管理を実施する事と、医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定が図っております。

### 1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロア一会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

#### 1) サービスの質の向上について

##### ① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々の状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態及び介助を要する部分の検討を行い、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも常食化に努めました。手作りおやつをご利用者と作る事で食事を楽しみを感じていただき嚥下状態の維持にも繋げました。

##### ② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
令和5年3月	2名	8名
令和6年3月	1名	9名

##### ③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴	特殊浴
令和5年3月	0名	10名	0名
令和6年3月	0名	9名	1名

##### ④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。 令和5年度ターミルケア実施者：2名（永眠：1名）

##### ⑤ 施設行事・フロア行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

### フロア行事実施記録

日程	行事内容	日程	行事内容
4月5日	花見	10月12日	運動会
5月11日	母の日ケーキ作り	11月13日	鍋パーティー
6月5日	握り寿司	11月20日	焼き芋作り
6月16日	父の日ケーキ作り	12月22日	クリスマス会
6月20日	パフェ作り	1月1日	初詣

7月6日	七夕フルーツパーティー	2月8日	節分パーティー
8月16日	カキ氷パーティー	3月3日	ひな祭り
9月20日	敬老会	3月24日	梅見

2) 高齢者虐待の防止の観点からフロア会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。

また、フロア会議において事故検討、認知症、身体拘束、高齢者虐待に関する研修会を実施しました。

3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施

入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し、低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。

① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作り心掛けました。

また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事を食べて頂けるように努めました。

② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。

③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング（感染対策として厨房職員が小分けにして提供）、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。

4) 2ヶ月1回運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

## 2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロア会議により内容の検証と共有を行いました。

また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

## 3 施設運営の安定と経費の適切な管理

1) 健康サポート（状態把握・対応）について

根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとりました。（入院件数：9件）

医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。（令和5年度 受診件数：15件 入院者：9名）

## 4 家族・地域との関係の強化について

1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時にはご家族への状況連絡を行い、月2回以上ご家族への近況報告を行いました。面会については制限がある中オンライン面会と窓越し面会、ターミナルケアの方は感染対策を行い直接面会を行いました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、令和5年度はすべてお断りさせていただきました。

サービス担当者会議開催件数（ユニット型）

項目 \ 年度	令和4年度	令和5年度
サービス担当者会議の件数	20件	25件
ご家族参加の総件数	0件	0件

※新型コロナウイルス感染症予防のため、面会制限（指定した部屋でのオンラインのみ）とし、意向を伺い作成しています。

2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

5 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①フロアー会議において、危険予測（ヒヤリハットの活用）と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を搔かれて傷や内出血を確認し、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和3年度	皮下出血	17件	創傷	6件	転倒	5件
令和4年度	皮下出血	4件	創傷	6件	転倒	3件
令和5年度	転倒	8件	転落	5件	創傷	3件

令和3年度総件数 25件      令和4年度総件数 15件      令和5年度総件数 22件

ヒヤリハット件数対比表

令和3年度	転落	53件	喉詰め	21件	創傷	13件
令和4年度	転落	50件	喉詰め	26件	転倒	25件
令和5年度	転倒	39件	喉詰め	41件	転落	31件

令和3年度総件数 187件      令和4年度総件数 242件      令和5年度総件数 257件

②新型コロナウイルス感染症及び季節性感染症について、毎月感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図った結果、感染者はおられませんでした。

2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、令和5年度の苦情は0件でした。

また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

令和3年度	令和4年度	令和5年度
0件	0件	0件

3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行い5日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しております。

## 令和5年度

### 事業報告書

#### デイサービスセンターしらさぎ

年間稼働率は、64.3%となり、前年度と比較し-2.1%の減少となりました。令和5年度は4月から9月にかけては前年度同様に利用者が増えていましたが、10月頃より入院者、体調不良による利用休止者（入所系サービスへ移行）が増加し、稼働の低迷につながりました。（令和5年度目標稼働率72%）

#### デイサービス利用状況

##### 月別平均利用者数（※）令和4年度

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	23.4名(23.4)	10月	22.3名(25.3)
5月	23.6名(23.8)	11月	21.8名(21.2)
6月	24.3名(25.2)	12月	20.6名(19.7)
7月	23.3名(24.6)	R5.1月	20.4名(20.6)
8月	23.4名(24.3)	2月	20.7名(22.8)
9月	24.0名(24.2)	3月	22.1名(23.8)

年平均 22.5名(23.2)

##### 曜日別平均利用者数（※）令和4年度

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
22.8名 (24.3)	23.3名 (23.6)	23.8名 (24.2)	20.3名 (21.5)	21.2名 (23.2)	23.6名 (21.9)

##### 介護度別平均利用者数（※）令和4年度

(総合事業)

(通所介護)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
15.8 (14.8)	11.6 (13.3)	18.3 (20.5)	12.0 (12.5)	11.1 (10.1)	4.9 (3.1)	1.4 (0)

平均介護度 1.50(1.39)

##### 利用者年齢構成（※）令和4年度

	男性	女性	合計
～69歳	1(2)	0(0)	1(2)
70～74歳	3(1)	0(0)	3(1)
75～79歳	2(5)	4(3)	6(8)
80～84歳	5(6)	11(15)	16(21)
85～89歳	8(5)	20(18)	28(23)
90～94歳	3(3)	17(17)	20(20)

95～99歳	0 (1)	8 (6)	8 (7)
100歳～	0 (0)	1 (1)	1 (1)
合計	22 (23)	61 (60)	83 (83)
平均年齢	83.0歳 (82.4)	88.9歳 (88.7)	87.4歳 (86.5)
最低年齢	58歳	75歳	
最高年齢	98歳	101歳	

## 1.在宅生活の継続について

- ①ご利用者の情報をご家族と共有し、家事や趣味活動など出来ることを継続できる環境を整えました。
- ②送迎時には直接ご家族へ重要事項をつたえ、不在の場合は連絡帳の活用や電話連絡、メールなど、相談していただきやすい環境づくりに努めました。
- ③ご利用者の健康状態を都度確認し、必要に応じて助言を行うことで、安心した日常生活を送ることができるよう支援しました。(早め早めの対応)
- ④機能訓練や体操、脳トレの実施後、定期的に体力測定や認知症テストにより数値化したデータを明示することで、ご利用者の励みとなるよう働きかけました。
- ⑤ご利用者が何かしらの行事に参加いただけるよう、行事会議を毎月行い、内容や回数等を検討し、生活に楽しみが持てるように努めました。

## 2.サービスの質の向上

- ①多様なプログラムやクラブ活動を行い、個々の目的を重視し、生きがいと楽しみを持つことができる活動環境づくりに努めました。(家庭菜園、手芸、TVゲーム、麻雀 etc)
- ②体を動かす機会を多く作り、気分転換や下肢の浮腫み予防に取り組めました。(足浴、マッサージ、体操)
- ③事故報告書やヒヤリハットを活用し、危険予知や安全意識を高め、安心してご利用していただける環境づくりに取り組めました。

事故件数対比表

令和5年度	転倒3件	転落2件	創傷2件
令和4年度	転落3件	転倒1件	爪切りミス1件
令和5年度総件数 9件		令和4年度総件数 5件	

ヒヤリハット件数対比表

令和5年度	転倒48件	転落10件	所在不明8件
令和4年度	転倒19件	転落5件	喉つめ3件
令和5年度総件数 74件		令和4年度総件数 29件	

- ④自宅での様子、ご利用中の様子などをご家族と共有するため、連絡帳を活用し情報交換を行いました。(介護ソフトを活用し、連絡事項・記入のミスをなくす対応を行いました。) 苦情：0件
- ⑤嗜好調査やご利用者・ご家族から情報を聞き取り、自宅で同様の食事形態または常食に近づけ、安全で楽しく食事をするように取り組めました。
- ⑥利用毎に健康について考えていただく機会を設け、季節に応じて注意が必要なことを伝え、日常生活に取り入れていただけるように取り組めました。

(年間行事)

4月	誕生会、チューリップドライブ
5月	誕生会、火災避難訓練、ドライブ、母の日スイーツ
6月	誕生会、ドライブ、そうめん流し
7月	誕生会、ドライブ、七夕喫茶、スイーツバイキング、そうめん流し
8月	誕生会、ミニ夏祭り
9月	誕生会、敬老会、スペシャルスイーツ
10月	誕生会、合同災害避難訓練、ミニ運動会
11月	誕生会、ドライブ
12月	誕生会、クリスマス会
R6. 1月	誕生会、初詣(八幡神社)、新年会
2月	誕生会、節分、ドライブ
3月	誕生会、花見、ドライブ、しらさぎ喫茶

### 3.他事業所及び地域との連携

- ・ご利用者毎のサービス担当者会議に参加し、利用時の様子やご自宅での様子から必要なサービスの提案やサービス内容の変更等、ご家族・ケアマネジャー、その他の専門職と連携して在宅生活の支援に努めました。
- ・法人内事業所と協力し、地域交流講習会・介護技術講習会等を行い、地域での困りごとや情報交換を行い新規利用につなげました。

### 4.人材育成と資質・専門性の向上

(施設外研修)

日程	研修名
4月18日	姫路市監査指導課 社会福祉法人運営説明会 (WEB)
4月21日	全国老施協 バーセルインデックス研修 (Web)
5月22日	全国老施協 デイサービス事業継続・経営改善セミナー
7月18日	姫路市老施連 第2回施設長研修会 (BCP策定ポイント)
7月21日	ひょうご介護ロボット導入・生産性向上推進フェア
7月22日	姫路市高齢者支援課 高齢者施設整備に関する説明会
7月25日	安全運転管理者講習
8月24日	兵庫県介護ロボット導入支援研修基礎編 (WEB)
9月13日	姫路福祉保育専門学校 情報交換会
11月12日	姫路市監査指導課 社会福祉法人研修会 (WEB)
11月30日	県老事協 デイ部会職員研修会 (WEB)
2月6日	姫路市監査指導課 社会福祉法人会計研修会 (WEB)
2月15日	県老事協 デイ部会管理者研修会 (WEB)
2月27日	厚労省 介護現場における生産性向上フォーラム (WEB)
3月7日	県老事協 施設長研修会 (WEB)
3月12日	県高齢政策課 R5 集団指導及び介護報酬改定説明会 (WEB)
3月21日	岩谷産業 停電対策から始める BCP 策定セミナー (WEB)
3月31日	日本摂食支援協会 口腔衛生管理について (WEB)

※外部研修はハイブリット研修となり、参加しやすい環境となりました。積極的に参加し、新たな情報や知識を収集するように取組みました。

(施設内研修)

研修月	研修名	担当
4月	倫理法令順守について	管理者
5月	認知症及び認知症ケア	相談員
6月	食中毒の予防	管理栄養士
7月	災害対策と対応	管理者
8月	感染症	看護師
9月	ハラスメント対策	リハ職
10月	緊急時対応・心肺蘇生法実習	副主任
11月	個人情報とプライバシー	リハ職
12月	利用者主体の介護とは	介護職
R6. 1月	高齢者虐待・身体拘束	介護職
2月	要介護者等に対するこれからの介護予防の役割	副主任
3月	介護事故の未然防止、対応・報告、再発防止	相談員

※上記以外に法人全体でのハラスメント研修、感染症や自然災害の研修、訓練（シミュレーション）により感染対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化など実施しています。

#### 5. 健康管理と感染症対策について

- ① 迎え時の検温、手指消毒や来所時のうがい、手洗い、手指消毒、検温確認の徹底を図り、体調不良者の方は利用を控えていただく等の対応を行い、職員へは少しでも体調に異常があれば休養するよう対応し、細菌の持ち込まないようにご利用者・職員共に徹底し、事業所内での感染はありませんでした。
- ② ご利用者の病歴を都度確認し、利用中の様子に留意し、少しの変化にも気付けるように介護職と看護職が協働しました。また、早期に受診を勧めることで早期の対応が行え、入院に至らないケース、入院しても早期に退院されるケースもありました。

#### 6. 財源の確保、稼働率向上について

- ① 重度者や認知症の方が安心してご利用いただくために、ご家族やケアマネジャー（必要に応じて医療機関）と処置や対応について情報共有を行いました。また、ご利用者・ご家族の希望を随時確認しながら、利用時間・サービス内容等にできる限り対応し、幅広いニーズにお応えできるように取り組みました。
- ② ご家族の精神的・身体的負担の軽減を図る為、送迎時や電話連絡の機会にコミュニケーションをとり、自宅での困りごと等を相談していただきやすい関係性を作るように取り組みました。また、ご家族の負担になっていることをケアマネジャーと確認し、利用の追加・変更、時間延長・短縮などできる限り対応を行いました。
- ③ 利用休止が続いている方へは、ご自宅へ訪問し現状把握を行い、話の中から利用再開ができるように対応しました。長期入院の方へは様子を定期的にケアマネジャーに確認し、必要に応じて退院前カンファレンスに参加し、継続してご利用していただけるように取り組みました。
- ④ デイサービスの取り組みや様子、雰囲気などをご家族に向けた新聞でお伝えしています。居宅支援事業所や地域に向けたチラシなどで、PRを行い新規利用者の獲得に努めています。併せて施設見学も実施しました。
- ⑤ ご利用者の人数が著しく少ない日には、配置基準及びサービスの質が低下しない範囲で、職員の出勤調整を行い人件費の削減に取り組みました。
- ⑥ 消耗品については、安易に関連業者の話を鵜呑みにせず、実際に目視で確認し正否を判断しました。依頼する時も必ず見積もりをとり、整合性を確保しました。

## 1 サービス提供計画 について

- ①アセスメントや担当者会議の開催、定期的訪問によるサービス提供状況などの把握と評価を行いました。ご利用者やご家族の意向を具体化し、自立支援や重度化予防に向けた、ケアマネジメントを実施しました。
- ②公正中立なケアマネジメントを実施するため、利用するデイサービスなどのサービス事業所に関する、サービス内容や特徴、利用料金など、パンフレットも活用しながら、適切な情報をわかりやすく伝え、ご利用者やご家族がサービス選択をしやすいように工夫しました。
- ③独居や身寄りのないケース、認知症等で対応が困難なケースなどは、事業所内でケース会議を行って対応方法について検討しました。また、法人が運営する特別養護老人ホームやデイサービスとも連携を図りながら、多様なニーズの解決に努めました。
- ④利用者の権利擁護に留意し、地域包括支援センターなどの関係機関に相談や連絡を行って連携を図りました。
- ⑤判断能力に問題があるご利用者やそのご家族に対し、必要に応じて日常生活支援事業や成年後見制度の活用ができるように、紹介し連携を図りました。

## 2 経営基盤充実のための取り組みについて

- ①新規利用は、介護給付 44 件、予防給付 52 件ありました。
- ②法人が運営するの特養への入所 16 件、死亡・長期入院 16 件、他施設入所 1 件、介護給付から予防給付の移行が 9 件で、介護給付の終了が、合計 42 件でした。
- ③令和 5 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行され、昨年度よりも、外出する機会も増え、ADL が安定されたこともあり、介護給付から、予防給付に移行されるケースが増えました。
- ④体調不良や認知症の進行などにより、自宅での生活が困難になるケースについて、ご利用者やご家族の希望を伺い、法人が運営する特養やショートステイの利用ができるように調整しました。一方、法人のデイサービスを利用している利用者 6 名が、ショートステイ利用に移行したため、デイサービスの利用休止（中止）者が増えました。
- ⑤令和 5 年度も、入院退院が多く、入院が、67 件、退院が 57 件ありました。  
入院時加算、退院退所加算が算定できるように、必要な書類を揃え、対応しました。
- ⑥今年度も、自宅での看取りに関わらせて頂くことができましたが、算定要件に該当しなかったため、令和 6 年度は、特定事業所医療介護連携加算が算定できない予定です。
- ⑦地域包括支援センターとの受託契約が終了となり、職員の異動があり、職員体制が 4 名から 5 名に増員したため、介護認定の結果予防給付となった利用者の増加に加え、地域包括支援センターから紹介のある予防給付対象者を積極的に受け入れました。
- ⑧昨年は予防給付の新規が 524 件でしたが、令和 5 年度は 804 件の受入れができ、昨年度に比べ 280 件増やすことができました。
- ⑨目標として、年間稼働率を 85%、月あたりの報酬額を 250 万円で設定していましたが、実績としては、稼働率が 84.2%、月あたりの報酬額は 231 万円となり、目標が達成には至りませんでした。
- ⑩令和 5 年度の年間稼働率は、84.2%と低下はしましたが、特定事業所医療介護連携加算を算定できたため、前年度の月あたり報酬額 202 万円に比べ 29 万円増加しました。  
しかし、収支差額では、職員が 1 名増員のため、大幅な増収とはなりません。
- ⑪新規利用者の確保のため予防給付を積極的に受けたところ、地域包括支援センターか

ら予防給付の新規が年間通じて 13 件ありました。同居家族が、介護給付になられた時などにも紹介があり、介護給付の相談に繋げることができました。

- ⑫安定した事業運営に取り組むため、新規の依頼時や介護相談などがあつた時は、迅速に対応し、顧客ニーズに応えました。そうすることによって、安心して紹介して頂ける居宅介護支援事業所を目指したところ、地域包括支援センターや他の居宅支援事業所などからの、新規相談や依頼を増やすことができたと考えられます。

### 新規利用者 受け付け

申込先	令和 4 年度	令和 5 年度
ご家族、本人	23	43
書写林田地域包括支援センター	7	24
大白書地域包括支援センター	10	5
病院	4	2
事業所	24	19
合計	68	93

### ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付委託	52	55	60	60	60	68	72	73	78	76	76	74	804

### 3 連携の強化について

- ①デイサービスやショートステイなどの介護保険サービス事業所との連携については、サービス担当者会議等で、情報共有に努めました。
- ②入院、退院時には、主治医や病院の地域連携室などの担当者と情報提供や情報交換を行い、支援内容などについて、意見交換し、自宅での生活を安心して送ることができるように、在宅復帰に向けた支援を行いました。
- ③対応困難なケースは、地域包括支援センターなどの関係機関に相談、連携を図りました。また、併設の特別養護老人ホームしらさぎの里やデイサービスセンターしらさぎとも連携し、早期解決に取り組みました。

### 4 介護支援専門員としての質の向上について

- ①特定事業所加算の算定事業所として、質の高いケアマネジメントが実践できるように努力しました。
- ②事業所内で週 1 回のケース検討会議、研修計画に従い月 1 回の勉強会を実施しました。
- ③個人目標を設定し、個別の研修計画に従って外部研修に参加し、オンライン研修も活用して研修への参加機会を広げることによって職員のスキルアップや資質の向上を図りました。
- ④他法人の居宅介護支援事業所と共同で対応力向上を目指した事例検討会や勉強会を行い、スキルアップのための情報交換等も積極的に行いました。
- ⑤対応困難ケースについて、他の居宅介護支援事業所からの助言なども参考にしながら、対応方法などを振り返り、利用者満足の上上に留意しつつ、介護保険サービスなどの利用による、在宅生活の実現に向けて支援を行いました。

令和5年度 外部研修

開催日	研修名称等	出席職員	開催場所
5月18日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・山田	姫路市総合福祉会館
5月24日	兵庫県認定調査研修	本條	WEB 研修
5月31日	姫路市保健所 第1回精神保健福祉 支援者研修会	松下	姫路市総合福祉会館
7月12日	ケアマネジメント力向上会議	本條	姫路市総合福祉会館
7月13日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント会議	松下・山田	ウエルカムハウスワン
4月19～8日間	介護支援専門員更新研修	本條	県福祉人材センター
7月11日～9日間	主任介護支援専門員更新研修	富永	WEB 研修
9月14日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント会議	福岡・松下	ウエルカムハウスワン
10月26日	姫路市在宅医療介護連携支援センター 看取りのシミュレーション	山田・本條	マリア病院
11月16日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント会議	富永・松下	ウエルカムハウスワン
令和6年 2月15日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント会議	松下・本條	ウエルカムハウスワン
3月12日	集団指導及び介護報酬改定説明会	福岡	WEB 研修
3月13日	ケアマネジメント力向上会議	富永・松下	姫路市総合福祉会館
3月19日	ハラスメント防止研修	福岡	WEB 研修

令和5年度 事業所内研修

開催日	研修名称等
令和5年4月11日	高齢者虐待について
5月2日	法令順守について
7月6日	メンタルヘルスについて
8月8日	権利擁護について
9月6日	認知症について
10月29日	心臓病の兆候について
11月1日	BCPについて
12月19日	カスタマーハラスメントについて
12月1日	介護保険の最新情報について
令和5年1月10日	ターミナル加算、医療サービスについて
2月3日	感染症予防について
2月10日	ツカザキ居宅と共同事例検討会「ヤングケアラーの支援について」
3月6日	メンタルヘルスケアについて

## 5 地域との交流と連携について

感染予防に十分注意しながら、年4回、アットホーム林田しらさぎで、しらさぎ地域交流講習会の開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加者
6月19日	フレイル予防で目指せ健康寿命	姫路市安富保健福祉サービスセンター 保健師 守本祥代氏	14名
9月14日	お手軽健康体操で心も体もリフレッシュ	しらさぎデイ 機能訓練指導員 則岡一雅	20名
11月9日	食から始めようフレイル予防	しらさぎ里 管理栄養士 福岡友香	14名
令和6年2月8日	冬の運動不足解消、簡単にできる健康体操	しらさぎデイ 機能訓練指導員 則岡一雅	20名

- ①2020年から、新型コロナウイルスが感染拡大して、外出を控える必要がありました。地域住民同士の繋がりも少なくなっていたため、地域住民の交流の場を提供するため、しらさぎ地域講習会の開催を通じて地域交流を支援しました。参加者募集にあたっては、公民館にチラシを掲示、案内の郵送、ポスティングなどを通じて啓発、周知を図りました。
- ②上記取り組みの結果、林田地域以外で、しらさぎ地域交流講習会の開催依頼があり、令和6年度は活動の地域を拡大することにしました。
- ③介護保険や施設入所に関する相談時には、介護支援専門員の専門知識を活かし、相談者の不安軽減に留意しました。
- ④相談対応において、希望があれば法人の特別養護老人ホームしらさぎの里のショートステイや入所に向けてサポートを行いました。
- ⑤地域包括支援センターなどの関係機関や法人の特養やデイサービスと連携して、他職種連携による素早い対応を行い、「地域に根差した総合福祉相談」を実践しました。

## 6 感染症や災害への対応力強化について

- ①感染症及び災害発生時においては、事業継続計画（BCP）に基づき、衛生用品や防護用具・防具用具等の備蓄ができていないか、定期的に確認しました。
- ②新型コロナウイルスなどで介護保険のサービスが受けることができない場合は、ご家族やご利用者の意向を確認しながら、他事業所の紹介や調整を行うなどして継続した介護保険サービスの利用実現を図りました。
- ③法人の事業所や他の事業所とも、日頃から連携体制を構築し、緊急時の対応に備えました。
- ④法人主催の合同避難訓練や防災訓練に参加し、緊急時の対応に備えて事業所内でも研修を行い、対応力向上を図りました。
- ⑤感染症予防対策として、出勤前に健康チェックを行い、就業の可否を確認、判断しました。訪問機会が多い業務であるため、感染症を施設内に持ち込まないように、利用者宅へ持ち込まないように、手洗いや消毒等、健康管理を徹底しました。
- ⑥研修や会議は、オンラインを活用し、感染症のリスクを軽減できるように工夫しました。

令和5年度 施設外研修参加一覧			
日程	研修内容	参加者	会場
4/13	姫路市老施連 意見交換会	施設長	ホテルモントレ 姫路
4/18	姫路市監査指導課 社会福祉法人運営説明会	理事長・施設長・春本	WEB
4/21~ 配信	全国老施協 パーセルインデックス研修	則岡	WEB
5/12	県経営協 第43回総会・記念講演会	理事長	神戸オリエンタルホテル
5/16	姫路市老施連 総会・研修会	施設長・渡部	ホテルモントレ 姫路
5/16	R5年度新規学卒者を対象とする求人取扱説明会	施設長	ホテルモントレ 姫路
5/18	第1回ケアマネジメント力向上会議	福岡恵・山田	姫路市総合福祉会館
5/22	R5年度姫路市社会福祉施設協議会理事会	施設長	姫路市総合福祉会館
5/23	姫路市医療介護連携会議「研修検討委員会」	施設長	姫路市医師会
5/24	兵庫県認定調査員研修	本條	WEB
5/30	県老事協 第1回研修委員会	施設長	WEB
5/30	姫路市監査指導課 衛生講習会	荒内	WEB
5/31	姫路市保健所 第1回精神保健福祉支援者研修会	松下	姫路市総合福祉会館
5/31	西播磨総合リハビリテーションセンター 身体介護テーマ別研修ポジショニング編	井上・三村	WEB
6/1	姫路市監査指導課 R5年度社会福祉法人・社会福祉施設指導監査説明会	施設長	WEB
~6/16 配信	全国老施協 デイサービス事業継続・経営改善セミナー	春本	WEB
6/19	姫路市老施連 役員会	施設長	ホテルモントレ 姫路
6/23	パラマウントベッド 眠りSCAN第2回WEB勉強会	澤江	WEB
6/28 他4日	西播磨総合リハビリテーションセンター 認知症介護実践者研修	満田	WEB
~6/30 配信	全国老施協 誤嚥事故予防セミナー	澤江	WEB
7/4	姫路市社会福祉施設協議会総会	施設長	姫路市総合福祉会館
7/12	地域保活支援課 ケアマネジメント力向上会議	本條	姫路市総合福祉会館
7/13	第1回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	山田・松下	ウエルカムハウス スワン
7/18	姫路市老施連 第2回施設長研修会	施設長・春本・	ホテルモントレ

		渡部	姫路
7/21	ひょうご介護ロボット導入・生産性向上推進フェア	春本・渡部	アクリエひめじ
4/19 他8日	R5年度介護支援専門員更新研修B・再研修	本條	県福祉人材センター
7/14 他3日	県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者講習会	加納	県福祉センター
7/25	安全運転管理者講習	春本	姫路市市民会館
7/26	姫路市監査指導課 社会福祉法人運営研修	施設長	WEB
7/27・ 28	近畿老人福祉施設研究協議会 兵庫・神戸大会	施設長・井貫朝・澤江	神戸ポートピアホテル
7/27	姫路市高齢者支援課 特別養護老人ホームの整備等に関する説明会	春本	WEB
8/9	全国社協 R5年度社会福祉法人主任係長講座	井貫朝	WEB
7/31	TENA学習会 漏れの解決 119番	木南	WEB
8/22	姫路老施連 役員会	施設長	ホテルモントレ 姫路
7/11 他9日	主任介護支援専門員更新研修	富永	WEB
9/12	姫路市老施協 施設ケアマネージャー研修会	施設長	ホテルモントレ 姫路
9/13	姫路保育福祉専門学校 情報交換会	施設長・春本	姫路保育福祉専門学校
9/14	地域包括 第2回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡恵・松下	ウエルカムハウス スワン
10/4	県事業協会 生産性の向上セミナー	施設長	WEB
10/16	市老連 役員会	施設長	ホテルモントレ
10/24	県事業協会 介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修	施設長	WEB
10/26	姫路市在宅医療介護連携支援センター 看取りのシミュレーション	山田・本條	ひめマリア
10/26	生涯現役社会ワークショップひょうご2023	施設長	県中央労働センター
	兵庫県介護ロボット導入支援研修基礎編	施設長・春本	WEB
10/31	ハローワーク 西はりま新規高等学校卒業生求人説明会	施設長・渡部	ホテルモントレ
11/7	県事業協会青年部会 施設長研修会	施設長	WEB
11/13	県事業協会 介護の日イベント	施設長	神戸オリエンタルホテル
11/16	R5年度第3回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	富永・松下	ウエルカムハウス スワン
11/21	姫路市監査指導課 社会福祉法人研修会	春本	WEB
11/21	県事業協会 R5年度職員研修会	施設長	WEB

11/21	県事業協会 第2回研修委員会	施設長	WEB
11/21	姫路市老施連 リスクマネジメント研修	渡部・井貫朝	ホテルモントレ 姫路
11/28	西播磨総合リハビリテーションセンター 身体介護テーマ別研修	佐倉	西播磨総合リハビリ テーションセンター
11/29	エール姫路2就職面接会	施設長・渡部	ハローワーク姫 路
11/30	県事業協会 デイ部会職員研修会	三木ゆ	WEB
12/2	ファイザー クラスタ対策講演会	渡部	WEB
12/10	県ナースセンター プラチナナースマッチ ングフェア	施設長	じばさんびる
12/19	姫路市老施連 役員会	施設長	ホテルモントレ 姫路
12/22	県経営協 R5 年度法人経営トップセミナー	理事長	WEB
1/6	県社協 R6 年新年福祉のつどい	理事長	ANA クラウンプラザホ テル神戸
1/15	姫路市監査指導課 労務管理研修	施設長	WEB
1/18	市老施連 R6.1 月役員会・職員研修会	施設長・福岡 友	ホテルモントレ 姫路
1/26	県経営協 経営協セミナー後期	理事長	WEB
2/2	県事業協会 第3回研修委員会	施設長	WEB
2/6	姫路市監査指導課 社会福祉法人会計研修	施設長・春本	WEB
2/15	県事業協会 R5 年度デイ部会管理者研修 会	春本	WEB
2/15	第4回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研 修	松下・本條	ウエルカムハウ ススワン
2/20	R6.2 月姫路市老施連役員会	施設長	ホテルモントレ 姫路
2/27	厚生労働省 介護現場における生産性向上 フォーラム	三木	WEB
3/7	プラチナナース就業継続支援 講師	渡部	WEB
3/7	県事業協会 施設長研修会	施設長・春本	ホテル北野プラ ザ六甲荘
3/12	県高齢政策課 R5 年度集団指導及び介護 報酬改定説明会	施設長・春本・ 渡部・福岡恵・ 福岡友	WEB
3/13	地域包括支援課 ケアマネジメント力向上 会議	富永・松下	姫路市総合福祉 会館
3/19	姫路市監査指導課 ハラスメント防止研修	福岡恵	WEB
3/19	見佳志保学園 学校関係者評価委員会・教 育課程編成委員会	荒内	日本栄養専門学 校
3/21	姫路市老施連 第2回総会	施設長	ホテルモントレ 姫路

3/21	姫路市老施連 総会記念講演会	施設長・渡部	ホテルモントレ 姫路
3/21	岩谷産業 停電対策から始める BCP 策定 WEBセミナー	春本	WEB
~3/29 配信	全国老施協 自立支援総合研修	長谷川淳	WEB
~3/31 配信	日本摂食支援協会 口腔衛生等管理について	春本	WEB

令和5年度ボランティア活動実績				
活動日時		活動内容	部署	活動人数
令和5年	11月23日	クリスマスツリー飾りつけ	特養	3名
	2月24日	ひな人形飾りつけ	特養	5名
参加ボランティア：団体（1団体） 林田ボランティアグループ				
延	活動回数： 2回			
延	活動人数： 8名			